



報道関係者 各位

平成 29 年 1 月 25 日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業安定課
課長 島田 正史
課長 補佐 福田 貴仁
地方職業指導官 笠井 勝巳
(電話番号) 088-611-5383

平成29年3月新規学校卒業予定者(高卒・大卒)の就職内定状況等を取りまとめ

～新規高卒就職内定率は平成28年12月末時点で90.6%～
(学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計)

～新規大卒就職内定率は平成28年12月末時点で72.6%～

「徳島新卒者等就職・採用応援本部」(本部長 飯野弘仁徳島労働局長)は、平成29年3月新規学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況(平成28年12月末現在)(速報値)を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

I 新規高等学校卒業予定者

1 就職内定状況

- (1) 求職者(就職希望者数)は1,401人、前年同期(1,412人)に比べ11人(0.8%)減少した。
- (2) 就職内定者は1,269人、前年同期(1,264人)に比べ5人(0.4%)増加した。
- (3) 就職内定率は90.6%、前年同期(89.5%)を1.1ポイント上回った。

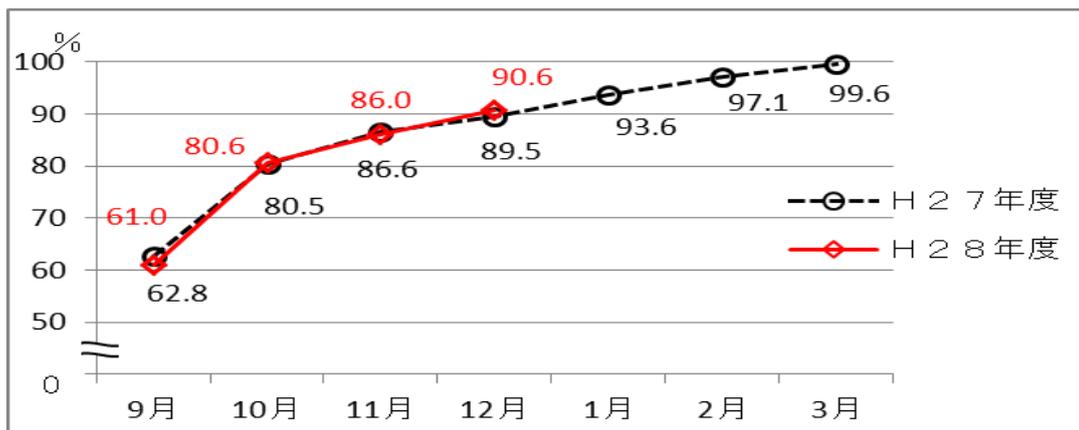
平成28年度

$$\frac{1,269 \text{人 (就職内定者数)}}{1,401 \text{人 (就職希望者数)}} = 90.6\%$$

平成27年度

$$\frac{1,264 \text{人 (就職内定者数)}}{1,412 \text{人 (就職希望者数)}} = 89.5\%$$

※学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計



2 求人の状況

県内の安定所で受理した求人数は2,132人で、前年同期(1,906人)に比べて226人(11.9%)増加した。

3 県内就職希望者数の状況

- (1) 県内就職希望者は1,069人、前年同期(1,107人)に比べ38人(3.4%)減少した。
- (2) 県内就職内定者は943人、前年同期(966人)に比べ23人(2.4%)減少した。
- (3) 県内就職内定率は88.2%、前年同期(87.3%)を0.9ポイント上回った。

4 求人倍率

県内就職希望者の求人倍率は1.87倍で、前年同期(1.64倍)に比べ0.23ポイント上回った。

II 新規大学卒業予定者

1 就職内定状況(届出済分)について

- (1) 求職者(就職希望者)は2,131人、前年同期(2,104人)に比べて、27人(1.3%)増加した。
- (2) 就職内定者は1,547人、前年同期(1,463人)に比べて、84人(5.7%)増加した。
- (3) 就職内定率は72.6%、前年同期(69.5%)を3.1ポイント上回った。

※本調査は、徳島労働局管内の各安定所が、未内定学生への就職支援のために、学校が既に把握している範囲での内定状況等を報告していただいた数の集計であり、内定を受けていても学校に届出していない学生は未内定として計上されます。文部科学省と厚生労働省が、共同で調査して公表している全国の数値と直接比較できるものではありません。

2 求人の状況について

県内・外の事業所から大学に提出された求人数は258,897人で前年同期(280,300人)に比べ、21,403人(7.6%)減少した。

《就職支援の取組》

- (1) 平成28年度、徳島労働局においては、「若者の雇用対策の推進」を掲げ、とりわけ最も重点をおいて新卒者等の就職支援を推進し、若者と企業のマッチングの強化に取り組んでおり、今後も各学校と連携を保ちながら未内定生徒を把握したうえで、ジョブサポーターによる求人開拓の推進を図るとともに、求人情報の提供、職業相談等に努めます。
- (2) 「未内定就活生への集中支援」として、1月30日(月)にあわぎんホールで参加企業32社による合同就職面接会を開催する予定としており、徳島県内で就職を目指す未内定学生等が卒業までに一人でも多く就職できるよう全力で取り組んでまいります。

また、平成29年2月7日(火)には、徳島新卒者等就職・採用応援本部第2回会合を開催し、「今後の新卒者就職支援の実施方針」を決定し、産・学・官の関係機関がより緊密に連携を図るとともに、1日も早く、将来ある新卒者の就職の実現に取り組んでまいります。